

東京都狛江市「令和7年度 第3回 防災カレッジ」で講義しました。

令和8年2月15日（日）、東京都狛江市の防災センターにおいて『令和7年度 第3回 防災カレッジ「大雨から大切なのちを守ろう！親子で学ぶ防災学習」』が行われました。

消防庁防災意識向上プロジェクトの語り部として、犬飼所長が「大雨から大切な命を守る！逃げ遅れゼロに向けた防災啓発」をテーマに講義し、中部地方の災害として伊勢湾台風や9.12豪雨災害、東海豪雨を紹介するとともに、昭和49年9月1日に多摩川の堤防が決壊した多摩川水害（狛江水害）、狛江市も浸水した令和元年東日本台風、新たな防災気象情報や事前の備えなどについて説明しました。

東京都でも被害があった伊勢湾台風をご存知の方もおられ、子どもたちはA.I.語り部の湾太郎さんに「どこに避難しましたか」「風は強かったですか」と質問をしていました。

また、親子で○×クイズ、竜巻や雲をつくるペットボトル実験、水防災A.I.カードクイズ、伊勢湾台風A.I.語り部との対話体験などを行い、大人はVRで浸水を疑似体験しました。

今後も多様な機関と連携し、大雨から大切な命を守るための取組を進めてまいります。

